

一関文化会議所創立30周年 式典、記念誌発行など記念事業を計画 2019年度 通常総会

2019年度 NPO法人一関文化会議所通常総会は、4月25日に一関文化センター小ホールで開催され、平成30年度事業報告、同一般会計収支決算、2019年度事業計画、同一般会計収支予算、理事の選任の5件の議案を承認しました。

通常総会 理事長挨拶



四月初めの^{みぞれ}霽雪に驚かされたり、桜の開花宣言に胸躍らせたのも束の間、世は正に平成から令和へ移ろうとしているところです。

さて皆様方におかれましては、何かと御多忙中にも拘らず、NPO法人一関文化会議所の通常総会に御出席いただき、誠に有り難う

ございます。又皆様方には常日頃から、当文化会議所の運営と活動につきまして、温かい御理解と御支援を賜り、改めて感謝申し上げる次第でございます。

本日の総会では、昨年度の実業報告や会計収支決算報告に続きまして、今年度の事業計画案と予算案の御審議をお願い致します。

それから今年度の事業委員会の事業として、「一関ふるさと学習院」では、「仙台藩の製鉄」をテーマに三回の講座と、塩竈神社方面への現地研修を計画しております。

又、奨励委員会では、文化的町づくりや人づくりに顕著な功績のあった方々を「一関文化賞」として顕彰させていただきます。

又、子ども委員会では「一関ふるさと子ども探検隊」と「東大生出前科学事業」を開催致します。

そして総務委員会では「大崎八幡宮」や「瑞巖寺」等の視察研修事業を計画しております。

ところで当文化会議所は、今年度創立30周年の節目を迎えます。その記念として、30周年記念誌「誘い磐井の歴史と文化」を編集発行して市内の全中学生に寄贈の予定です。

合わせて、三年前に発刊して好評を博した「一関地区ゆかりの人物事典」を再版し、これも全中学生に配布する計画です。

秋には、恒例「一関文化賞」表彰式と共に、創立30周年記念式典も同時開催致します。

私どもは設立当初の基本理念に基づき、市民の方々が豊かな文化を享受できる地域づくりの事業を進めて参る所存ですので、今年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



2019年度通常総会

議案の内容

議案第1号 平成30年度事業報告

- ◆一関ふるさと学習院事業
 - ・3回講座 延べ参加人数 100名
- ◆顕彰事業
 - ・一関文化賞表彰式(平成30年11月8日(木))
 会場: ホテルサンルート一関
 一関文化賞 一関古文書に親しむ会 様
 花泉町先人顕彰会 様
 村上和子様
- ◆子ども文化振興事業
 - ・東大生出前科学授業
 花泉中1～3年生 315名、千厩中1年生 94名
 室根中1～3年生 103名
 - ・春休み! チャーリー西村
 びっくりサイエンスSHOW
 入場者 235名

◆研修・視察事業

- ・東北人（みちのくの人々）の「信仰の深淵と伝説の源」
大聖寺（亀岡文殊）、熊野大社、夕鶴の里など
78名参加

◆会報事業

- ・会報30号、31号の発行

議案第2号 平成30年度一般会計収支決算報告

議案第3号 2019年度事業計画

◆事業の概要

記念誌の発行など創立30周年の記念事業を実施するほか、各事業への取組

- (1) 芸術文化、教育に関する事業
 - ・文化・教育振興のための講座等の開設
 - ・子どもの文化振興に関する事業
- (2) 顕彰事業
- (3) 文化、芸術、生涯学習の研修・視察事業
- (4) 文化団体等の育成支援
 - ・文化活動への支援
 - ・民俗芸能保存・伝承活動の支援
 - ・郷土文化史の掘り起こし
 - ・特色ある地域づくり活動への支援

議案第4号 2019年度一般会計収支予算

議案第5号 理事の選任

- ◆欠員に伴い理事2人を選任



総会で議案提案する内田理事長

2019年度役員・理事

理事長	内田 正好	奨励委員会	委員長	只野 弘三
副理事長	伊藤 勝義		副委員長	阿部 了子
副理事長	齋藤 猛雄		委員	千田 良一
専務理事	熊澤 厚子		委員	小岩 邦弘
専務理事兼事務局長	鈴木 悦朗	子ども委員会	委員長	佐藤 健三
事業委員会	委員長	工藤 武	副委員長	伊藤 福子
	副委員長	畠山 篤雄	委員	村上 喜久恵
	委員	石川 喜代子	委員長	安東 正利
	委員	菅原 庸夫	副委員長	大河原 節子
	委員	阿部 儀信	委員	佐藤 武生
	委員	東 資子	監事	山田 共子
		事務局		佐藤 一十
				阿部 静香

2019年度「研修・視察事業」

みちのくに華開いた 安土・桃山文化の探求



総務委員会 委員長 安東 正利

一関が伊達家重臣留守政景・宗利父子の領地となった頃、仙台藩祖 伊達政宗は、仙台城の造営を終えて神社仏閣の造営を行い、相次いで完成させました。

中でも、豊臣家に仕えていた名工を招いて造らせた大崎八幡宮、瑞巖寺などには豪壮にして華麗なる桃山建築の特色が遺憾なく発揮されています。

伊達家の威風を顕わすこれら建築物にかかわる政宗の思い、その当時の時代の雰囲気を探ってみたいと思います。

1. 実施日：2019年6月25日(火)
7時～17時30分
2. 発着場所：一関市総合体育館(Uドーム)
駐車場
3. 視察箇所：瑞巖寺、大崎八幡宮、仙台市博物館

一関ふるさと学習院

～ 仙台藩の製鉄～

事業委員会 委員長 工 藤 武

新市10周年を機に「一関地方の歴史と文化を見つめる」ことを大きなテーマに掲げ、新市域を俯瞰し、様々な角度、視点から各年度の講座内容を企画立案して、ふるさと学習院を実施しています。

今年度は、古代から現代まで文明発展の中心的役割を担ってきた「鉄」に視点を向け、第1回目の講座は、製鉄遺跡の紹介を通じて地域における江戸時代を中心とした製鉄の状況を学びます。

第2回目は、仙台藩北部における産業としての製鉄業の発展とその背景を探るとともに、生産された鉄の流通なども学びます。

第4回目は、地区内で採取される砂鉄を用いて、地元小学校とともにたたら製鉄に20年に渡って取り組んでいる団体の活動から、子どもたちのふるさと学習と地域の歴史・文化の関わりについて考えていきたいと思ひます。



新市10周年を機に一関地方の歴史と文化を見つめる
～ 仙台藩の製鉄～



開 講 計 画

回	開催日時 内 容	会場 講 師
1	6月20日(木) 14:00～16:00 (室内講座) 北上山地の近世製鉄遺跡 北上山地には広く花崗岩が分布しており、その風化物から得られる砂鉄を原料として、古代から製鉄が行われてきた。近世になり、耕地開発が盛んになり、鉄の道具の需要が増し、仙台藩・盛岡藩・八戸藩では製鉄が産業として成長した。製鉄には原料となる砂鉄だけでなく、大量の木炭が必要とされたので、砂鉄産地から離れたところにも製鉄遺跡が存在している。発掘調査された遺跡もわずかではあるが存在し、それらを紹介する。	一関文化センター小ホール たたら研究会 全国委員 佐々木清文 氏
	7月24日(水) 14:00～16:00 (室内講座) 仙台藩の製鉄 一藩北部地域を中心に 仙台藩北部地域では製鉄業が発展しました。その背景として、原料となる砂鉄や燃料となる森林資源に恵まれたこと、地理的な理由で農業以外の産業を興す必要があったことなど様々な要因がありました。その背景を探るとともに、どのようなかたちで製鉄業が運営され、生産された鉄がどのように流通していったのかなどについてお話しします。	一関文化センター小ホール 東北歴史博物館 学芸部長 千葉 正利 氏
3	9月26日(木) 8:00～17:00 (予定) (現地探訪) 「奥州一之宮鹽竈神社と周縁」を訪ねる 鹽竈神社境内に遺る石巻鑄銭場資料と博物館の見学、また近傍の特徴ある歴史的建造物をめぐります。 また、開館20周年を迎える東北歴史博物館の特別展「蝦夷」の見学も併せて行います。	集合場所 一関市総合体育館(Uドーム) 見学予定地 ・鹽竈神社博物館・鑄銭釜 ・海商の家 旧亀井邸 ほか ・東北歴史博物館
	10月16日(水) 14:00～16:00 (室内講座) ふるさとの歴史と文化学び…小学生の鉄づくり20年… 砂鉄川源流部の内野地区は伊達藩最大の砂鉄採取地で、町内にはたたら製鉄(炯屋(どうや)製鉄)遺跡が多くある。平成11年、内野小学校で総合的な学習として「郷土の歴史～鉄の文化を知ろう～たたら製鉄」を始め、統合大原小学校に継承され20年が経過。支援するホッパの会はたたら製鉄20周年記念誌を発刊。小学生が取り組むたたら製鉄を紹介します。	一関文化センター小ホール ホッパの会 事務局長 勝部 欣一 氏

びっくりサイエンスSHOW 大盛況

3月23日(土)文化センター中ホールで、文化会議所子どもスペシャルとして 春休み！チャーリー西村びっくりサイエンスSHOW を開催しました。

子どもたちとお父さんやお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、観客250人とチャーリー西村が一緒になって、楽しみながら科学の面白さを体験できた90分間は、アツという間でした。

文化会議所のスタッフも「空気砲」や「ゴム風船」の実験のお手伝いをしました。



2019年度 子ども委員会事業

東大生出前科学授業、子ども探検隊を計画 「人物事典」を全中学生に配布も

子ども委員会 委員長 佐藤 健三

2019年度にありましても、一関の明日を担う子ども達の健やかな成長を願い、その手助けになれば何よりとの想いで各種の事業を計画しました。

8月の末(29日、30日)には、厳美中、大原中、興田中の生徒を対象として、東京大学CASTによる出前科学授業を実施予定。10月27日には、花泉・老松・金沢の各小学校児童を対象として、中尊寺や骨寺村荘園遺跡などを巡り、平泉との歴史的つながりを学ぶ「子ども探検隊」を企画。沢山の子も達が参加してくれることを願っています。

また、文化会議所創立30周年記念事業として「一関地方ゆかりの人物事典」を再版し、市内の全中学生に配布する計画です。

文化会議所入会のご案内!!

NPO法人一関文化会議所に入会しませんか。一関市内に在住する個人、市内に事業所を置いている団体を募集しています。入会しますと数々の特典があります。

- 入会の特典
- 1 一関ふるさと学習院 講座集録集
 - 2 一関文化会議所創立20周年記念誌「史料が語る郷土」
 - 3 一関文化会議所創立20周年記念誌「ふるさと創生二十年史」

など文化会議所発刊図書等の進呈のほか、研修・視察事業実施時に一般募集より優先して参加の案内、「一関ふるさと学習院」講座の無料聴講、視察研修参加費の補助などがあります。個人会員(一般)3,000円・(賛助)2,000円、団体会員は10,000円となっていますが、資料等の詳細は事務局に問い合わせ下さい。会員の皆様もぜひお誘い下さい。

◇入会の申し込み・問い合わせ **NPO法人一関文化会議所事務局**
〒021-0884 一関市大手町2-16 一関文化センター内
電話・FAX 0191-32-4333 (月～金曜日 9:00～17:00)